

学校法人 ●●●大学様

高校・大学接続入学前教育プログラム

2017 年度入学予定者対象
実施報告書

2017/03

目次

1. プログラムの概要 P3～4
2. 調査のねらい P4
3. プログラム全般 P5～17
4. エルダーアンケートと社会人基礎力テストの結果について P18～19
5. 入学後の離学についての調査 P20
6. 今後の課題 P21
7. 総評 P21

巻末資料① 進学生アンケートフリーアンサー P22～23

巻末資料② 2011～2016年度実施プログラム内容 P24～26

1 プログラムの概要

2017 年度の内部進学生に対して実施した●●●大学高校・大学接続入学前教育プログラム（以後プログラムという）について報告いたします。

このプログラムの目的は、上記進学生（以後受講生という）にモチベーションを持って●●●大学へ入学をしてもらう事と、エルダー役である貴学在学学生（先輩学生）の成長です。

実施期間につきましては、2016 年 12 月 11 日（土）にプログラム説明のための受講前ガイダンスを実施、2017 年 2 月 13 日（月）から 2 月 24 日（金）までの期間で、全 13 講義、月曜日、水曜日、金曜日の 9：30～12：40（1 講義目 9：30～11：00、2 講義目 11：10～12：40、3 講義目 13：30～14：30※2 月 24 日のみ 3 講義目がありました。）のプログラムを実施いたしました。

本年度も、補講（eラーニング）は希望者のみ個別対応といたしました。

この実施報告書では、9 年目を終えたプログラムの内容をおつたえします。

プログラムの企画・運営・スタッフ管理等は、昨年同様で弊社が受託し、実施させていただきました。プログラムの策定や運営は、弊社、大学関係者（主に教育支援センター）様、●●●プロジェクトの「●●●エルダープロジェクト」のメンバーと共に取り組みました。

昨年度からの変更点と致しましては、第 2 回目の仲間とのコミュニケーションという講義で、昨年とは違うアイスブレイクを多く取り入れることで、初日よりエルダーと受講生のコミュニケーションが取れる工夫をいたしました。本年度も●●●エルダープロジェクトのメンバーの役割は、研修の講師役、本番プログラムを運営するための役割分担決定、昨年度のプログラムの改善修正提案等のまとめを実施、弊社また貴学に報告をもらいプログラムの修正をするという流れで活動を行いました。

プログラムに関しましては、以下の観点に注意しながら策定を行いました。

- 1) 昨年同様にこのプログラムは、初日が大切であり、受講生が休むことなく参加したくなるには、エルダーと受講生のコミュニケーション（交流）が必要であると考え、昨年度も変更実施した第 2 回目講義の仲間とのコミュニケーションという講義の内容で新しいアイスブレイク（ゲーム）に内容を変更しました。
- 2) 本年度もエルダープロジェクトメンバーで、附属高校へ行き 1 年生を前に今後の高校生活の送り方や大学を選んだきっかけ、今大学で何をしているかなどを講義する機会をいただきました。これにより来年度の受講生は始めて附属高校へ行った際に講義を行った生徒がこのプログラムに参加することになります。
- 3) 出席率向上のため、本年度も附属高校との連携や保護者等への連絡を確実に実施いたしました。
- 4) エルダーメンバーの社会人基礎力の変化を計測するため、2009 年にネクストエデュケーションシンクと日経 HR 様で開発された、経済産業省が推進する【社会人基礎力】に対応した大学・専門学校向け標準スキル診断 サービスの「社会人基礎力レベルチェッカー（無料版）」を利用して、プログラムの前後で 2 回調査を行いました。

結果として1)に関しましては、エルダー参加型のアイスブレイクを導入することにより、昨年度に比べてよりエルダーと受講生の会話が増えました。アイスブレイクはとても重要な講義だと感じています。

2)に関しましては、附属高校側の先生方も卒業生が頑張っている姿が見られたことで嬉しいとおっしゃっていただきました。また、昨年度よりもエルダーも少し慣れたところもありましたが、初年度に比べると少し準備不足感がしました。来年度の課題であると感じています。

3)に関しましては、大幅に改善のあった昨年以上に、出席欠席率を改善することができました。出席（無遅刻無欠席と遅刻者無欠席）者は、全体で90.91%、2016年度受講生と対比すると約7%アップしました。欠席者は、国際学部（新設）、スポーツ健康学部（新設）、デザイン工学部、工学部クラスで1.96%、経営学部で14%、経済学部で11.32%となりました。また、補講対象者は約9%（全体154名中14名）でしたが、全員が補講を受講しプログラムを修了することができました。これは9年間実施してきて初めての結果となりました。（全員がプログラムを修了）

（P6表 3-1-1、3-1-2参照）

4)に関しましては、3回生以上は±0%、1~2回生は5.4%アップしています。2013年~2015年度では連続で1~2回生の社会人基礎力テストの結果が、プログラム実施前と実施後でアップしていることを考えると、1~2回生のうちに参加することで早くから今後の就職活動等に役に立つと言われている社会人基礎力のアップにつながると考えられます。（P19参照）

これらにおけるプログラムアンケートの詳細比較や集計結果は以下の通りです。

2 調査のねらい

（1） 大学入学前の現状把握

附属高校より内部進学を果たす入学対象者が、大学での学びへの取り組み方や授業に対してどのような期待をしているのか。

また、2016年度の高大接続プログラムの内容についてどう感じているのか、という事を確認するために実施しました。

（2） 調査方法

調査は、プログラム最終日（2017年2月24日）に出席をしていた進学生154名中147名に対してアンケートを実施しました。アンケートに関する答えは以下の通りです。

1. とてもそう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

また、エルダーメンバーにも、プログラム終了日にアンケートを実施し回答を得ました。以下のレポートはその調査報告であります。

3. プログラム全般

本プログラムは、第1講義を9:30～11:00まで、第2講義を11:10～12:40として、それぞれのテーマで対面講義を実施して大学に入学する為の心構えや大学情報の提供を行いました。

出席率は、無遅刻無欠席者が2016年度88.96%（2015年度75.71%、2014年度57.64%、2013年度40.7%、2012年度28.9%、2011年度34.9%）、無欠席者（無遅刻無欠席者を含む）2016年度90.91%（2015年度84.29%、2014年度65.02%、2013年度52.3%、2012年度33.3%、2011年度53.4%）となり出席率は始めて90%台となりました。また、欠席者は2016年度約9%（2015年度約14%、2014年度約13%、2013年約17%、2012年度25%、2011年度12%）となりこれも過去一番よい結果となりました。

本年度も、貴学と附属高校様で連携を図っていただきました。昨年から始まったプログラムの開始前にエルダープロジェクトメンバーが附属高校に出向き、1年生を対象とした講義の時間をいただくことも実施できました。来年度は1回目に受けてくれた附属高校の生徒の中でプログラム受講生となる生徒もいると思います。その点に関しては楽しい要素でもあります。

本年度は、エルダーメンバーで高校へのアポイントなども実施したりすることができさらなるスキルアップにつながったと思っております。

3-1 出席率

下の表（表 3-1-1）は、出席欠席を集計したものです。

無遅刻無欠席者とは第 1、第 2 対面講義に遅れずに出席して、講義終了時の感想文を全て提出したものと
しています。無欠席者とは、第 1、第 2 対面講義が終わるまでに出席をし、対面講義の感想文を提出したものと
しています。

また、下の表（表 3-1-2）は、国際学部（新設）、スポーツ健康学部（新設）、デザイン工学部、工学部（ク
ラス①）、経営学部 I（クラス②）、経営学Ⅱ（クラス③）、経済学部 I（クラス④）、経済学部Ⅱ（クラス
⑤）としてクラス分けを行い、2/13（月）～2/24（金）までの月、水、金の計 6 日間の欠席者の集計をした
ものです。

【出席者集計】

表 3-1-1

	2011 年度		2012 年度		2013 年度		2014 年度		2015 年度		2016 年度	
参加者	232		273		199		203		140		154	
無遅刻無欠席者	81	34.91%	79	28.94%	81	40.70%	117	57.64%	106	75.71%	137	88.96%
無欠席者	43	18.53%	12	4.40%	23	11.56%	15	7.39%	12	8.57%	3	1.95%
集計	124	53.45%	91	33.33%	104	52.26%	132	65.02%	118	84.29%	140	90.91%

【欠席者集計】

表 3-1-2

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
人間環境学部	データなし	17.80%	16.50%	15.58%	0%	-
経営学部		32.90%	24.90%	23.19%	20.93%	14%
経済学部		23.80%	18.70%	7.11%	25.64%	11.32%
工学/デザイン工学		21.60%	8.70%	5.71%	8.30%	-
国際/スポ健/デザイン/工学部		-	-	-	-	1.96%

※集計は、各学部の欠席者総人数を各学部の総人数の合計で計算し計算し平均値を算出しています。

3-2 受講生に対する意識調査比較について

以下の結果は、本年度と過去 5 年間で実施した受講生に対するアンケートの意識調査をまとめ、比較したも
のです。このアンケートは最終受講日の修了式後に実施するアンケートのため、このアンケートの回答数は最
終受講日の出席者数と比例します。

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
総数	232	273	199	203	140	154
回答数	214	221	159	164	132	147
回答率	92.24%	80.95%	79.90%	80.79%	94.29%	95.45%

3-2-1 高大接続プログラムがなかったらどのように過ごしていたか？

春休み中にこのプログラムがなければ、どのように過ごしていたかを問いましたが、73%の受講生が家庭での自主的な学習をしない意向を示す結果となりました。過去6年間で一番悪い結果となりました。

過去5年間と比較しても大きな変化はありません。入学までの期間を半数以上が「アルバイトをする」か「友達と遊ぶ」と回答し、大学での重要な資格取得をすると回答したのは20%で、5年前に比べ15%低下しています。

1. 体力づくりをしていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	17.9%	29.9%	24.0%	17.0%	28%	16%	30%
どちらかといえばそう思う	32.7%	21.0%	24.0%	26.4%	22%	23%	24%
あまりそう思わない	24.9%	30.4%	26.2%	22.0%	19%	28%	15%
そう思わない	24.5%	18.7%	25.8%	34.6%	31%	33%	31%

2. 勉強をしていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	8.9%	16.4%	13.6%	12.6%	14%	10%	17%
どちらかといえばそう思う	21.4%	15.0%	18.1%	14.5%	19%	17%	14%
あまりそう思わない	31.1%	39.3%	33.5%	26.4%	27%	28%	27%
そう思わない	38.5%	29.4%	34.8%	46.5%	40%	45%	42%

3. 課外活動（クラブ・部活・サークル）をしていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	12.8%	21.5%	17.2%	17.6%	17%	16%	25%
どちらかといえばそう思う	22.6%	18.7%	17.6%	11.9%	12%	13%	12%
あまりそう思わない	23.0%	21.0%	16.3%	17.0%	15%	20%	13%
そう思わない	41.6%	38.8%	48.9%	52.8%	56%	51%	50%

4. 友人と遊びに行っていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	53.7%	57.0%	67.0%	61.0%	66%	60%	61%
どちらかといえばそう思う	33.9%	29.9%	24.9%	27.0%	28%	27%	28%
あまりそう思わない	7.8%	8.9%	4.5%	8.2%	1%	9%	5%
そう思わない	4.7%	4.2%	3.6%	3.8%	5%	4%	6%

5. 家の外で趣味の活動をしていた（釣り、音楽活動など）

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	21.8%	36.9%	35.3%	32.7%	39%	33%	39%
どちらかといえばそう思う	30.0%	30.4%	29.4%	28.3%	24%	30%	27%
あまりそう思わない	26.8%	20.6%	16.7%	23.9%	17%	17%	17%
そう思わない	21.4%	12.1%	18.6%	15.1%	21%	20%	17%

6. 家の内で趣味の活動をしていた（DVD・音楽鑑賞）

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	36.2%	46.3%	45.7%	50.3%	50%	51%	47%
どちらかといえばそう思う	42.0%	34.6%	31.2%	35.2%	28%	33%	28%
あまりそう思わない	12.8%	11.2%	13.6%	9.4%	10%	5%	14%
そう思わない	8.9%	7.9%	9.5%	5.0%	11%	11%	12%

7. 資格の勉強をしていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	12.8%	16.8%	12.7%	10.7%	12%	9%	13%
どちらかといえばそう思う	22.6%	10.7%	11.3%	8.8%	13%	11%	7%
あまりそう思わない	33.9%	30.8%	24.9%	22.6%	20%	22%	24%
そう思わない	30.7%	41.6%	51.1%	57.9%	54%	58%	55%

8. 運転免許を取りに行っていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	34.6%	41.6%	38.9%	32.7%	34%	32%	44%
どちらかといえばそう思う	26.5%	21.0%	18.1%	17.0%	18%	21%	16%
あまりそう思わない	18.7%	8.9%	11.3%	13.8%	17%	10%	7%
そう思わない	20.2%	28.5%	31.7%	36.5%	31%	37%	34%

9. 読書（漫画、雑誌を除く）をしていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	16.3%	23.4%	20.4%	18.9%	21%	14%	24%
どちらかといえばそう思う	29.6%	23.8%	18.1%	15.7%	16%	20%	16%
あまりそう思わない	26.1%	18.7%	16.7%	25.2%	15%	17%	16%
そう思わない	28.0%	34.1%	44.8%	40.3%	48%	49%	44%

10. 旅行（国内、海外）をしていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	17.9%	24.8%	23.1%	21.4%	21%	23%	25%
どちらかといえばそう思う	23.0%	14.5%	19.9%	16.4%	20%	12%	14%
あまりそう思わない	23.0%	18.7%	15.8%	14.5%	14%	17%	16%
そう思わない	36.2%	42.1%	41.2%	47.8%	45%	48%	45%

11. アルバイトを探していた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	23.3%	29.9%	29.9%	26.4%	23%	17%	20%
どちらかといえばそう思う	39.3%	25.7%	16.3%	14.5%	15%	20%	14%
あまりそう思わない	14.8%	9.8%	8.6%	12.6%	12%	11%	5%
そう思わない	22.6%	34.6%	45.2%	46.5%	51%	52%	61%

12. アルバイトをしていた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	44.4%	56.1%	56.1%	55.3%	62%	67%	67%
どちらかといえばそう思う	31.1%	17.8%	16.3%	11.9%	15%	13%	13%
あまりそう思わない	10.9%	6.1%	6.3%	10.7%	7%	8%	3%
そう思わない	13.6%	20.1%	21.3%	22.0%	16%	12%	17%

3-2-2 高大接続プログラムについて質問します。

プログラムの各領域について受講後にアンケートで回答を得ました。回答に関しては以下の通りです。

1. プログラムに満足している

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	26.5%	30.4%	46.2%	59.1%	57%	61%	55%
どちらかといえばそう思う	53.5%	38.3%	29.4%	29.6%	31%	36%	33%
あまりそう思わない	14.8%	19.2%	11.3%	6.9%	9%	3%	7%
そう思わない	5.4%	12.1%	13.1%	4.4%	3%	0%	3%

2. プログラムは大学生活に役立つ

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	26.1%	45.8%	58.4%	64.2%	63%	63%	76%
どちらかといえばそう思う	54.9%	35.0%	28.1%	28.3%	30%	33%	19%
あまりそう思わない	14.8%	11.2%	7.7%	4.4%	5%	4%	3%
そう思わない	4.3%	7.9%	5.9%	3.1%	2%	0%	1%

3. 先生先輩（エルダー）と知り合いになれた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	24.9%	33.2%	46.2%	42.1%	43%	42%	39%
どちらかといえばそう思う	54.9%	36.9%	29.4%	37.1%	34%	38%	35%
あまりそう思わない	15.6%	19.2%	13.1%	14.5%	16%	12%	18%
そう思わない	4.7%	10.7%	11.3%	6.3%	7%	8%	7%

4. パソコンなどの機器を使えるようになった

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	17.5%	33.2%	質問なし	22.6%	18%	58%	61%
どちらかといえばそう思う	44.7%	33.6%		28.3%	22%	35%	31%
あまりそう思わない	30.4%	20.1%		27.7%	25%	6%	6%
そう思わない	7.4%	13.1%		21.4%	35%	1%	2%

5. 大学の施設の情報を得ることができた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	24.1%	43.5%	57.0%	55.3%	57%	52%	63%
どちらかといえばそう思う	56.0%	38.3%	29.4%	33.3%	33%	37%	27%
あまりそう思わない	17.1%	12.1%	6.8%	7.5%	8%	8%	8%
そう思わない	2.7%	6.1%	6.8%	3.8%	2%	3%	3%

6. 部サークルなどの学内活動についての情報を得ることができた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	23.0%	29.4%	48.0%	52.2%	52%	63%	70%
どちらかといえばそう思う	61.5%	40.2%	32.6%	30.8%	35%	33%	25%
あまりそう思わない	12.5%	17.8%	13.6%	12.6%	10%	2%	1%
そう思わない	3.1%	12.6%	5.9%	3.8%	3%	2%	3%

7. 学生生活についての情報を得ることができた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	25.3%	48.6%	55.2%	59.7%	59%	51%	59%
どちらかといえばそう思う	60.3%	42.5%	33.5%	32.1%	34%	40%	33%
あまりそう思わない	11.7%	3.7%	7.7%	6.9%	7%	8%	5%
そう思わない	2.7%	5.1%	3.6%	1.3%	1%	1%	3%

8. 大学の講義（授業）やレポートについての情報を得ることができた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	24.5%	43.5%	49.8%	54.7%	49%	52%	60%
どちらかといえばそう思う	56.4%	41.1%	38.0%	34.6%	38%	42%	35%
あまりそう思わない	15.6%	9.3%	7.2%	8.2%	9%	6%	14%
そう思わない	3.5%	6.1%	5.0%	2.5%	4%	0%	5%

9. 大学の学習方法についての情報を得ることができた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	25.3%	47.2%	53.4%	50.3%	50%	32%	51%
どちらかといえばそう思う	54.5%	39.7%	35.7%	35.8%	38%	48%	31%
あまりそう思わない	17.1%	8.4%	5.9%	8.8%	9%	15%	14%
そう思わない	3.1%	4.7%	5.0%	5.0%	3%	5%	5%

10. 大学の講義についていけるように復習ができた

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	19.1%	23.8%	33.0%	32.7%	35%	-	-
どちらかといえばそう思う	54.5%	35.0%	40.3%	32.1%	38%	-	-
あまりそう思わない	19.1%	29.4%	15.4%	22.0%	16%	-	-
そう思わない	7.4%	11.2%	11.3%	8.2%	10%	-	-

3-2-3 大学での学びについて質問します。

1. 単位を取るために授業をしっかり選びたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	55.6%	90.7%	82.4%	88.7%	85%	83%	91%
どちらかといえばそう思う	38.9%	7.5%	13.6%	9.4%	10%	14%	9%
あまりそう思わない	4.3%	1.4%	2.7%	1.3%	4%	2%	0%
そう思わない	1.2%	0.5%	1.4%	0.6%	1%	1%	0%

2. 提出物の期日は必ず守りたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	54.5%	90.2%	85.1%	84.9%	90%	85%	93%
どちらかといえばそう思う	40.1%	9.3%	9.5%	13.2%	7%	11%	6%
あまりそう思わない	4.3%	0.5%	4.1%	1.3%	2%	2%	0%
そう思わない	1.2%	0.0%	1.4%	0.6%	1%	2%	1%

3. 必要な予習や復習をしたうえで授業に望みたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	26.5%	43.0%	48.0%	54.1%	57%	47%	65%
どちらかといえばそう思う	51.4%	43.9%	38.5%	33.3%	33%	40%	24%
あまりそう思わない	18.7%	10.3%	10.0%	11.9%	9%	11%	10%
そう思わない	3.5%	2.8%	3.6%	0.6%	1%	2%	1%

4. 先生に質問したり、勉強の仕方を相談したい

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
とてもそう思う	28.4%	39.3%	49.3%	46.5%	52%	49%	67%
どちらかといえばそう思う	50.6%	47.2%	35.7%	44.7%	37%	39%	25%
あまりそう思わない	18.7%	9.8%	11.3%	6.3%	8%	8%	6%
そう思わない	2.3%	3.7%	3.6%	2.5%	2%	4%	1%

5. 私語・他のことを気にせず授業に集中したい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	32.7%	47.7%	58.4%	54.1%	54%	54%	56%
どちらかといえばそう思う	51.4%	41.1%	30.3%	34.6%	40%	41%	32%
あまりそう思わない	13.2%	8.9%	9.0%	10.1%	4%	4%	9%
そう思わない	2.7%	2.3%	2.3%	1.3%	1%	1%	3%

6. グループワークや討論に積極的に参加したい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	29.6%	39.7%	41.6%	47.2%	45%	44%	52%
どちらかといえばそう思う	49.0%	38.8%	37.6%	34.0%	42%	39%	31%
あまりそう思わない	18.3%	17.3%	14.5%	11.9%	9%	14%	15%
そう思わない	3.1%	3.7%	6.3%	6.9%	4%	3%	3%

7. なるべくよい成績を取りたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	52.5%	78.0%	71.9%	82.4%	76%	77%	89%
どちらかといえばそう思う	38.5%	17.3%	22.6%	15.1%	20%	18%	10%
あまりそう思わない	7.8%	4.7%	2.3%	1.9%	3%	3%	1%
そう思わない	1.2%	0.0%	3.2%	0.6%	1%	2%	0%

8. 欠席、遅刻をしないようにしたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	58.0%	77.1%	79.2%	78.6%	82%	83%	90%
どちらかといえばそう思う	35.8%	20.6%	14.5%	17.0%	15%	16%	9%
あまりそう思わない	5.1%	1.4%	4.5%	3.8%	3%	0%	1%
そう思わない	1.2%	0.9%	1.8%	0.6%	0%	1%	0%

9. 興味がわからない授業でもきちんと出席したい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	35.0%	40.7%	42.5%	46.5%	48%	37%	50%
どちらかといえばそう思う	51.8%	31.3%	38.9%	31.4%	37%	42%	35%
あまりそう思わない	11.3%	18.7%	11.3%	15.7%	10%	16%	12%
そう思わない	1.9%	8.9%	6.8%	6.3%	4%	5%	3%

3-2-4 講義への期待

どのような授業に期待しているかを質問しています。

1. 就職活動に直結する授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	40.9%	69.2%	62.4%	65.4%	70%	61%	69%
どちらかといえばそう思う	47.9%	26.2%	28.1%	27.7%	20%	36%	26%
あまりそう思わない	8.9%	2.8%	7.2%	6.3%	9%	2%	4%
そう思わない	2.3%	1.9%	2.3%	0.6%	2%	1%	1%

2. 将来やりたいことを考えるきっかけとなる授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	43.2%	78.5%	71.0%	71.7%	76%	68%	78%
どちらかといえばそう思う	49.8%	16.8%	21.7%	23.3%	18%	28%	20%
あまりそう思わない	4.3%	3.3%	5.4%	4.4%	4%	5%	2%
そう思わない	2.7%	1.4%	1.8%	0.6%	2%	2%	0%

3. 教え方の上手な授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	44.0%	67.3%	70.1%	66.0%	67%	65%	73%
どちらかといえばそう思う	49.0%	27.1%	23.1%	27.0%	25%	28%	22%
あまりそう思わない	5.4%	5.1%	4.5%	6.3%	6%	5%	5%
そう思わない	1.6%	0.5%	2.3%	0.6%	1%	2%	0%

4. 資格の取得に役立つ情報やテクニックを教えてくれる授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	37.4%	67.8%	64.3%	64.8%	69%	64%	76%
どちらかといえばそう思う	55.6%	28.5%	25.3%	30.2%	25%	29%	20%
あまりそう思わない	5.4%	2.8%	7.2%	4.4%	5%	4%	4%
そう思わない	1.6%	0.9%	3.2%	0.6%	1%	3%	0%

5. 将来の役に立つ情報を教えてくれる授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	41.6%	72.9%	71.9%	73.6%	71%	69%	81%
どちらかといえばそう思う	50.2%	20.1%	21.3%	21.4%	24%	27%	16%
あまりそう思わない	7.0%	5.1%	5.9%	4.4%	5%	2%	3%
そう思わない	1.2%	1.9%	0.9%	0.6%	1%	2%	0%

6. 社会や現実との関わりから学問の意義を教えてくれる授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	35.8%	50.0%	52.9%	52.8%	54%	50%	61%
どちらかといえばそう思う	55.3%	34.6%	35.3%	36.5%	34%	37%	29%
あまりそう思わない	7.4%	13.1%	9.5%	8.2%	10%	11%	8%
そう思わない	1.6%	2.3%	2.3%	2.5%	2%	2%	2%

7. 確実に学問の基礎を教えてくれる授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	39.3%	54.7%	59.7%	54.7%	61%	59%	70%
どちらかといえばそう思う	50.2%	33.2%	28.1%	37.7%	29%	30%	22%
あまりそう思わない	9.3%	8.9%	9.0%	5.0%	7%	10%	7%
そう思わない	1.2%	3.3%	3.2%	2.5%	3%	1%	1%

8. 最先端の研究成果を教えてくれる授業

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	28.0%	51.4%	49.3%	52.2%	51%	45%	55%
どちらかといえばそう思う	54.9%	29.4%	33.9%	27.0%	26%	35%	27%
あまりそう思わない	14.8%	15.4%	11.3%	17.6%	17%	14%	16%
そう思わない	2.3%	3.7%	5.4%	3.1%	6%	6%	2%

3-2-5 大学での学びについての考え方について質問しています。

1. 専門分野を深く学びたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	30.4%	55.6%	51.1%	56.6%	53%	55%	57%
どちらかといえばそう思う	53.3%	29.0%	32.1%	34.6%	34%	33%	33%
あまりそう思わない	13.6%	13.1%	12.7%	7.5%	9%	8%	9%
そう思わない	2.7%	2.3%	4.1%	1.3%	4%	4%	1%

2. 専門分野以外のことを広く学びたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	26.1%	29.4%	34.8%	32.1%	32%	30%	42%
どちらかといえばそう思う	53.7%	39.7%	39.4%	44.7%	47%	48%	38%
あまりそう思わない	17.1%	24.3%	20.8%	17.6%	17%	18%	15%
そう思わない	3.1%	6.5%	5.0%	5.7%	4%	4%	5%

3. 授業は難しくても挑戦できるほうが良い

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	24.5%	28.5%	30.8%	30.2%	24%	31%	41%
どちらかといえばそう思う	48.6%	42.1%	35.7%	39.6%	48%	35%	31%
あまりそう思わない	21.8%	23.8%	24.9%	19.5%	21%	27%	21%
そう思わない	5.1%	5.6%	8.6%	10.7%	6%	7%	7%

4. 自分のレベルにあった授業をしてほしい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	33.9%	60.7%	63.3%	64.8%	68%	67%	71%
どちらかといえばそう思う	52.9%	31.8%	25.3%	27.0%	24%	25%	22%
あまりそう思わない	11.7%	4.7%	8.6%	5.7%	6%	7%	6%
そう思わない	1.6%	2.8%	2.7%	2.5%	2%	1%	2%

5. 授業はきっかけで後は自分で学びたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	24.5%	27.6%	27.6%	28.3%	23%	20%	42%
どちらかといえばそう思う	48.2%	30.8%	31.7%	36.5%	36%	35%	22%
あまりそう思わない	24.1%	32.2%	27.1%	25.8%	32%	36%	31%
そう思わない	3.1%	9.3%	13.6%	9.4%	9%	9%	5%

6. 授業の中で必要なことはすべて扱ってほしい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	29.2%	50.9%	51.1%	51.6%	54%	52%	63%
どちらかといえばそう思う	58.8%	38.3%	35.7%	35.8%	32%	40%	29%
あまりそう思わない	10.1%	8.9%	8.1%	11.3%	12%	7%	7%
そう思わない	1.9%	1.9%	5.0%	1.3%	2%	1%	1%

7. 授業の意義や必要性は自分で見出したい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	26.1%	37.9%	39.8%	34.0%	35%	35%	50%
どちらかといえばそう思う	56.8%	42.5%	35.3%	42.8%	40%	42%	29%
あまりそう思わない	14.8%	15.9%	19.0%	17.6%	20%	17%	17%
そう思わない	2.3%	3.7%	5.9%	5.7%	4%	5%	4%

8. 授業の意義や必要性を教えてほしい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	31.9%	39.7%	41.6%	39.6%	42%	34%	54%
どちらかといえばそう思う	51.4%	40.7%	35.7%	43.4%	37%	45%	29%
あまりそう思わない	14.8%	15.0%	16.3%	13.8%	16%	14%	16%
そう思わない	1.9%	4.7%	6.3%	3.1%	5%	7%	1%

9. 履修する授業は自分で好きなように取りたい

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	37.0%	56.5%	50.7%	54.1%	52%	48%	63%
どちらかといえばそう思う	53.7%	31.8%	31.2%	38.4%	37%	42%	31%
あまりそう思わない	8.6%	7.9%	12.2%	7.5%	7%	9%	6%
そう思わない	0.8%	3.7%	5.9%	0.0%	4%	1%	0%

10. 復習する授業はあらかじめ決まっているほうが良い

	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
とてもそう思う	34.6%	45.8%	48.4%	44.0%	48%	52%	56%
どちらかといえばそう思う	51.0%	37.4%	33.0%	39.6%	38%	39%	34%
あまりそう思わない	13.2%	11.7%	11.3%	13.2%	9%	9%	7%
そう思わない	1.2%	4.7%	7.2%	3.1%	4%	0%	3%

4 プログラムに参加したアンケートと社会人基礎力テストの結果について

プログラムに参加した感想として、「プログラムに満足をしている」と答えたエルダーは 95.5%となりました。また、「大学生活に役立つ」と答えたエルダーは 100%となっています。

実際に、就職活動を終えた 4 回生は、「今までエルダーに参加した経験が活かされた」「就活の面接のときに役に立った」とアンケートで答えてくれています。

このプログラムの目的である、エルダーメンバーに参加した学生の成長と、社会人基礎力をアップさせることが本当にできているのかどうかを調べるために、2013 年度から、2009 年に民間企業のネクストエデュケーションシンク様と日経 HR 様で開発された、経済産業省が推進する【社会人基礎力】に対応した大学・専門学校向け標準スキル診断 サービスの「社会人基礎力レベルチェッカー（無料版）」を利用して、プログラムが始まる前と終わった後の 2 回調査を行っています。

以下はその結果であります。

4-1 社会人基礎力テスト結果（3、4 回生解答結果）

【結果】

【3・4・大学院生】		主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	コントロール力	ストレスコン	得点
2013 年度 (n=9)	実施前	100	82	76	81	73	87	80	89	91	76	88	84	84	84
	実施後	89	87	72	88	78	80	87	87	89	74	96	76	84	84
	差	▲ 11	5	▲ 4	7	5	▲ 7	7	▲ 2	▲ 2	▲ 2	8	▲ 8	0	0
2014 年度 (n=13)	実施前	96	90	81	86	73	69	93	90	96	79	98	89	88	88
	実施後	98	92	76	96	73	78	95	89	95	69	100	87	88	88
	差	2	2	▲ 5	10	0	9	2	▲ 1	▲ 1	▲ 10	2	▲ 2	0	0
2015 年度 (n=10)	実施前	98	87	78	88	64	60	91	87	98	78	96	98	85	85
	実施後	93	82	80	85	69	85	88	87	93	75	100	92	86	86
	差	▲ 5	▲ 5	2	▲ 3	5	25	▲ 3	0	▲ 5	▲ 3	4	▲ 6	1	1
2016 年度 (n=14)	実施前	83	78	75	45	71	68	76	74	85	80	100	89	77	77
	実施後	70	88	63	68	70	68	85	83	86	65	85	89	77	77
	差	▲ 13	10	▲ 8	23	▲ 1	0	9	9	1	▲ 15	▲ 15	0	0	0

2016 年度の 3・4 回・大学院生の結果としましては、プログラム実施前より大きく上がった項目は、「課題発見力」23 ポイントでした。また、プログラム実施前より 10 ポイント以上下がった項目は、主体性、状況把握力、規律性で、全体の得点としては、プラスマイナス 0 となりました。3 回生以上はほとんどの学生がエルダー経験者ということもあり大幅な変動は見られない特徴があると思われます。

4-2 社会人基礎力テスト結果（1回生、2回生解答結果）

【結果】

【1・2回生】		主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	トラブル力	ストレスコン	得点
2013年度 (n=16)	実施前	65	79	78	84	64	83	83	84	58	81	76	53	71	
	実施後	85	79	88	88	62	80	80	88	80	85	76	67	78	
	差	20	0	10	4	▲ 2	▲ 3	▲ 3	4	22	4	0	14	7	
2014年度 (n=11)	実施前	69	73	70	74	48	57	63	86	57	85	79	71	69	
	実施後	83	86	82	82	52	65	79	83	73	75	78	84	77	
	差	14	13	12	8	4	8	16	▲ 3	16	▲ 10	▲ 1	13	8	
2015年度	実施前	57	53	52	56	40	50	54	55	53	48	55	52	52	
	実施後	82	79	84	86	73	63	69	84	74	80	78	78	76	
	差	25	26	32	30	33	13	15	29	21	32	23	26	24	
2016年度 (n=9)	実施前	62	62	77	85	71	60	79	82	60	68	70	64	70	
	実施後	60	65	80	85	80	59	81	91	75	82	72	75	75	
	差	▲ 2	3	3	0	9	▲ 1	2	9	15	14	2	9	5	

1～2回生の結果としましては、プログラム実施前よりほとんどの項目で大幅にアップしました。

過去データをみてもこのプログラムは1～2回生の社会人基礎力アップを図ることができるプログラムといえます。結果として、1～2回生の段階からこのプログラムに積極的に参加することにより、普段知り合うことのできない先輩から、就職活動などの話を聞く機会が増えます。

それらも1～2回生にとってはプラスの要因となると考えられます。

また、3～4回生が就職活動などでプログラムを欠席する場合があるため、1～2回生が主役となってプログラムの運営をしなければならず、上記のように得点が大きくアップする要因となることも考えられます。

研修とプログラム本番の少ない期間ではありますがとても貴重な経験と体験を通して、社会人基礎力が養われていることが結果から分かります。

5 入学後の離学者についての調査

このプログラムを実施することにより本来の目的の一つでもある離学者対策につながっているかどうかの確認をとるため、附属高校出身（高大接続プログラム対象者）と大学全体の離学率を下記表にまとめました。結果としては、2014 年度以降のプログラムの対象者の離学者率は、プログラムの欠席率が低くなるのと比例をして、下がってきています。プログラムの出席率が離学者対策に多少なりとも寄与できているのではないかと考えられます。

【離学率の対比】

大学全体	2013 年度生	2014 年度生	2015 年度生	2016 年度生	2017 年度生
対象者数	2201	1905	1951	2072	2166
1 年次	173	129	112	102	
2 年次	277	108	11		
3 年次	87	3			
4 年次	1				
離学者計※1	(211) 538	(15) 240	(▲51) 123	(16) 102	
離学率※2	(10.2) 24.4%	(1) 12.6%	(▲2.8) 6.3%	(0.5) 4.9%	
1 年次離学率※3	(2.8) 7.9%	(1.9) 6.8%	(0.1) 5.7%	(0.6) 4.9%	

※1_()内の数字は前年度の同時期の数値との差になり▲は減を意味しています。

※2,3_()内の数値は前年度の同時期の数値との差になり▲は減を意味しています。

高大対象者	2013 年度生	2014 年度生	2015 年度生	2016 年度生	2017 年度生
対象者数	273	199	204	140	154
1 年次	23	21	10	1	
2 年次	40	12	0		
3 年次	16				
4 年次	0				
合計 ※1	(41) 79	(▲21) 33	(▲18) 10	(▲6) 1	
離学率 ※2	(12.5) 8.9%	(▲3.2) 16.6%	(▲9.2) 4.9%	(▲2.7) 0.7%	
1 年次離学率※3	(2.4) 8.4%	(4.4) 10.6%	(▲5.7) 4.9%	(▲2.7) 0.7%	
高大平均欠席率	24.0%	17.2%	12.9%	3.6% ※4	0% ※5

※1_()内の数字は前年度の同時期の数値との差になり▲は減を意味しています。

※2,3_()内の数値は前年度の同時期の数値との差になり▲は減を意味しています。

※4_2016 年度生より補講を実施しております。2016 年度生の補講実施前欠席率は 13.715%でした。

※5_2017 年度生補講実施前欠席率は、5.456%でした。※4、※5 とも補講出席後の数値となります。

P6 表 3-1-1 「出席者集計」より

	2012 年度	2013 年度	2015 年度生	2016 年度生	2017 年度生
	33.30%	52.30%	65.02%	84.29%	90.91%

6 プログラム実施における今後の課題

6-1 貴学と附属高校様との連携強化

本年度も昨年度同様に、エルダープロジェクトの取り組みとして、附属高校での講義を経験いたしました。これはとてもよい取り組みであったと思われます。

これにより、エルダープロジェクト員の経験値アップはもちろんの事、高校の先生方も卒業生の取り組みや活動の状況を実際に見ることができ、その成長をととても喜んで下さっていました。

また、附属高校出身の先輩から、高校生活の過ごし方や大学選びのポイント、大学での生活などの話を直接聞くことができた附属高校の1年生にとっては今後の高校生活について考えるきっかけになったと思われます。来年度のプログラム受講生がこの講義を受けてくれた1期生となるためその動向も楽しみだと思われます。

6-2 プログラム内容の修正

本年度も参加率が低くならないようにするために、講義を受けた受講生が主体的に「このプログラムに参加したい」「なんか面白そうだな」と思っていただけの講義ができないだろうかと考えました。

結果として、2講義目実施の「アイスブレイク」内容変更を行い、受講生とエルダーの距離を近くする講義を実施しました。結果として、講義進行も昨年以上にスムーズに進み、なおかつ出席率が昨年度の84%から90%を超える結果へとアップしました。

6-3 離学者対策としてのこのプログラムの成果について

前頁の結果から、少しずつ離学者対策としての効果が出てきています。離学率も昨年度入学の附属高校出身の離学率が全体平均を下回ったことから言えます。

今後の取り組みとしては、高大接続プログラムの内容の策定し直し、出席率がアップされるようなプログラムにしていくことが必要であると思われます。

6-4 今後の広がりについて

学内での取り組み例としては、現在エルダープロジェクトメンバーはオープンキャンパス等でキャンパスツアーなどの担当をしていますが、学生同士だけの連携にとどまらず、学校職員様との連携することができるようになってきています。本年度さらに高校との連携も強化することによりエルダー学生の成長を促進できると思われます。

7 総評

2016年度、今年で9年目のこのプログラムを無事終えることができたことに感謝申し上げます。

これも貴学、附属高校様、エルダーの皆さん多くの方のご協力をいただくことにより得られた結果であると確信をしております。

今後とも貴学並びに附属高校様のご発展を祈願して総評とさせていただきます。

巻末資料①（受講生フリーアンサー）

※この部分は修正することなく記載しております。同じような感想はまとめております。

- ・大学生活を過ごすにあたっての心構えが出来たのですごく良かったと思う。
- ・2週間ありがとうございました。エルダーに入ってみたいです。
- ・ためにはなったと思う。
- ・助かった。よかった。
- ・2週間ありがとうございました。エルダーの方々に色々なことが聞けてよかったです。4月から始まる大学生活を楽しんでいきたいです。お世話になりました。もし、私を見かけたら、いつでも声をかけてください。
- ・2週間ありがとうございました。ちょっとだけ大学のことが知れてよかったです。
- ・〇〇エルダー最高でした。
- ・とても楽しくプログラムに取り組めた。ありがとうございました。
- ・就職は何%か気になる。
- ・ボランティアはしたくないです。
- ・来年エルダーやります。
- ・今回の高大接続プログラムは今後大学生活を送る上で、とても役に立ったと思います。大学ではいろいろなことに挑戦したいと思います。
- ・大学について学べた。楽しかったです。
- ・今回のプログラムを受けて、受けないより良いと思った。
- ・とてもためになりました。ありがとうございました。
※サークル・クラブ一覧表などがほしかったです。
- ・なんやかんやで楽しくできました。ありがとうございました。
- ・楽しく過ごすことができました。これを生活につなげたい。
- ・実は〇〇エルダーの優しく、男らしいところ結構好きです。〇〇エルダーともっとお話しがしたかった。
- ・何日も来るのではなく、だらだらと2週間（6日間）を過ごすのではなく、たとえば1週間（3日間）で丸1日つかってやるなどの方が良いと私は思います。
- ・2週間楽しく大学のことについて知ることができました。本当にありがとうございました。
- ・長かった。
- ・今回の高大プログラムで入学前に話を聞いてとても参考になりました。
- ・このプログラムで1歩前進できたような気がします。ありがとうございました！！
- ・エルダーの皆さん、2週間ありがとうございました。プログラムで学んだことを大学で活かせるように頑張ります！！
- ・めんどくさかったけど、大学の事をいろいろ知れてよかった。
- ・高大プログラムはしんどかった。だからこそ大学生活に活かしていきたいと思った。
- ・めんどくさかったけど、やって良かったです！ありがとうございました。
- ・仲良くなれたのですごく良かったと思います。Thank you
- ・なんやかんや楽しかったです。
- ・see you again!

- ・〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、（〇〇さん）ありがとうございました。
- ・2週間という短い間でしたが、大学での授業の取り方など詳しく教えてもらってとても分かりやすかったです。自分もサークル・プロジェクトに参加してみたいです。
- ・エルダーの皆様ありがとうございました。
- ・もう少し部活紹介の量を増やしてほしい。
- ・皆さん気さくに話しかけて下さったので、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・特にないです。充実した2週間ありがとうございました。
- ・〇〇さん2週間ありがとうございました。とても充実した時間でした。ありがとう。
- ・大学生活を有意義に暮らしたい。
- ・丁寧な説明ありがとうございました。大学でもよろしくおねがいます。
- ・思ってたより良かった！！
- ・いろいろなことがわかって良かった。
- ・今回の講義で色々学べたので、これからも新しいことや色んなことを学んでいきたいと思いました。6日間本当にありがとうございました。
- ・入学する前に●●●大学の事を知れてよかった。
- ・これから始まる大学生活が楽しみです。勉強も遊びも全力でいきたいと思います。
- ・少しの期間だったけどとてもタメになる事を教えてくれてありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。
- ・最初はめんどうでしたが、今思うとすごくためになる事を教えてくださっていたのだとわかり、2週間ほんとはよかったですと思います。
- ・短い間でしたが、とても内容の濃い授業になったと思います。
- ・2週間の月・水・金曜日、大学に行ったが朝起きるのがつらかった。でも友達が何人かつくくれたので良かった。
- ・高大接続プログラムを1日置きではなく、1週間で終わるようにスケジュールを組んでほしい。
- ・2週間ありがとうございました。とても役に立ちました。僕もエルダーになりたいと思いました。
- ・大学生活の不安がかなり取れました。
- ・短い間でしたが、ありがとうございました。〇〇さん、オープンスクールの水おいしかったです。
- ・2週間いろいろ大学の事を知れてよかった。

巻末資料③ (2011年～2016年 実施プログラムの内容)

2011年度プログラム内容 ※1 講義目は入学前教育の e-learning を実施

日程			2011年度高大接続プログラム内容
1日目	第1回		なかまとのコミュニケーション
2日目	第2回		●●●Lifeを楽しもう！
3日目	第3回		大学でしかできない活動
4日目	第4回		知らなきゃ損する！学生のお金事情！
5日目	第5回		アルバイトについて
6日目	第6回		心と身体の健康について
7日目	第7回		大学生の危機管理
8日目	第8回		大学での授業について
9日目	第9回		大学での講義と単位について～シラバスって何か？～
10日目	第10回		建学の精神とは？
	第11回		修了式

2012年度プログラム内容

日程		前年講義回	2012年度高大接続プログラム内容
1日目	第1回	第1回	なかまとのコミュニケーション
	第2回	新規	トランスファーゲーム
2日目	第3回	第3回	大学でしかできない活動
	第4回	新規	大学施設を巡る！キャンパスツアー
3日目	第5回	第8回	大学での勉強・授業の受け方
	第6回	新規	大学での授業を模擬体験！模擬授業を受けてみよう！
4日目	第7回	第2回	●●●Lifeを楽しもう！
	第8回	第6回	心と身体の健康について
5日目	第9回	第4回	知らなきゃ損する！学生のお金事情！
	第10回	第5回	アルバイトについて
6日目	第11回	新規	大学での部活と独立団体について
	第12回	第7回	大学生の危機管理について
7日目	第13回	新規	●●● プロジェクト共育について
	第14回	第9回	大学での講義と単位について～シラバスって何か？～
8日目	第15回	新規	高大接続プログラムを振り返ってみよう！
	第16回	新規	
9日目	第17回	第10回	建学の精神とは？
	第18回	第11回	修了式

2013 年度プログラム内容

日程		前年講義回	2013 年度高大接続プログラム内容
1 日目	第 1 回	第 17 回	建学の精神 「大学に来る意義」等を学長より講演をいただく
	第 2 回	第 1 回/2 回	なかまとのコミュニケーショント + トランスファーゲーム等
2 日目	第 3 回	第 3 回/7 回	大学でしかできない活動+●●●Life を楽しもう！
	第 4 回	第 4 回	大学施設を巡る！キャンパスツアー
3 日目	第 5 回	第 5 回/14 回	大学での勉強・授業の受け方 + 大学での講義と単位について
	第 6 回	第 6 回	大学での授業を模擬体験！模擬授業を受けてみよう！
4 日目	第 7 回	第 11 回	大学での独立団体、クラブ、公認サークルについて
	第 8 回	第 13 回	●●● プロジェクト共育について
5 日目	第 9 回	新規/9 回/10 回	学生生活課より「学生生活における注意点」/ 外部講師アルバイトについて
	第 10 回	第 12 回	大学生の危機管理について
6 日目	第 11 回	第 15 回	高大接続プログラムを振り返ってみよう！
	第 12 回	第 16 回	
7 日目	第 13 回	新規	自分の大学生活での目標などをまとめてみてはいかがでしょうか？
	第 14 回	第 18 回	修了式

2014 年度プログラム内容

日程		前年講義回	2014 年度高大接続プログラム内容
1 日目	第 1 回	第 1 回	建学の精神 「大学に来る意義」等を学長より講演をいただく
	第 2 回	第 2 回	なかまとのコミュニケーション + トランスファーゲーム等
2 日目	第 3 回	第 3 回	大学でしかできない活動+●●●Life を楽しもう！
	第 4 回	第 4 回	大学施設を巡る！キャンパスツアー
3 日目	第 5 回	第 5 回	大学での勉強・授業の受け方 + 大学での講義と単位について
	第 6 回	第 6 回	大学での授業を模擬体験！模擬授業を受けてみよう！
4 日目	第 7 回	第 7 回	大学での独立団体、クラブ、公認サークルについて
	第 8 回	第 8 回	●●● プロジェクト共育について
5 日目	第 9 回	第 9 回	学生生活課より「学生生活における注意点」/ 外部講師アルバイトについて
	第 10 回	第 10 回	大学生の危機管理について
6 日目	第 11 回	第 11 回	高大接続プログラムを振り返ってみよう！
	第 12 回	第 12 回	
		新規	昼食懇談会
	第 13 回	第 13 回	大学生活での目標を決めてみよう！
	第 14 回	第 14 回	修了式

2015 年度プログラム内容

日程		前年講義回	2015 年度高大接続プログラム内容
1 日目	第 1 回	第 1 回	建学の精神 「大学に来る意義」等を学長より講演をいただく
	第 2 回	第 2 回	なかまとのコミュニケーション (アイスブレイク導入)
2 日目	第 3 回	第 3 回	大学でしかできない活動+●●●Life を楽しもう！
	第 4 回	第 4 回	大学施設を巡る！キャンパスツアー
3 日目	第 5 回	第 5 回	大学での勉強・授業の受け方 + 大学での講義と単位について
	第 6 回	第 6 回	大学での授業を模擬体験！模擬授業を受けてみよう！
4 日目	第 7 回	第 7 回	大学での独立団体、クラブ、公認サークルについて
	第 8 回	第 8 回	●●● プロジェクト共有について
5 日目	第 9 回	第 9 回	学生生活課より「学生生活における注意点」 / 外部講師アルバイトについて
	第 10 回	第 10 回	大学生の危機管理について
6 日目	第 11 回	第 11 回	高大接続プログラムを振り返ってみよう！
	第 12 回	第 12 回	
			昼食懇談会
	第 13 回	第 13 回	大学生活での目標を決めてみよう！
	第 14 回	第 14 回	修了式

2016 年度プログラム内容

日程		前年講義回	2016 年度高大接続プログラム内容
1 日目	第 1 回	第 1 回	建学の精神 「大学に来る意義」等を学長より講演をいただく
	第 2 回	第 2 回	なかまとのコミュニケーション (アイスブレイク内容変更)
2 日目	第 3 回	第 3 回	大学でしかできない活動+●●●Life を楽しもう！
	第 4 回	第 4 回	大学施設を巡る！キャンパスツアー
3 日目	第 5 回	第 5 回	大学での勉強・授業の受け方 + 大学での講義と単位について
	第 6 回	第 6 回	大学での授業を模擬体験！模擬授業を受けてみよう！
4 日目	第 7 回	第 7 回	大学での独立団体、クラブ、公認サークルについて
	第 8 回	第 8 回	●●● プロジェクト共有について
5 日目	第 9 回	第 9 回	「学生生活における注意点」 / アルバイトについて
	第 10 回	第 10 回	大学生の危機管理について
6 日目	第 11 回	第 11 回	高大接続プログラムを振り返ってみよう！
	第 12 回	第 12 回	
			昼食懇談会
	第 13 回	第 13 回	大学生活での目標を決めてみよう！
	第 14 回	第 14 回	修了式